

# 防 災



写真：成合（国道32号線：1998豪雨災害）

## 日頃の備えはできていますか？

### 起こりうる 巨大地震災害

今年も、もう間もなく梅雨のシーズンを迎えます。その後、台風シーズンと続き風水害の時期がやってきます。皆さん、日頃の備えはできていますか？

最近、南海地震に関する報道もよく耳にするようになりました。それも、今から約

さらに、次の南海地震は、平成14年3月に高知県が作成した、第2次高知県津波防災アセスメントに基づくと、昭和の南海地震を遙かに上回る規模であると推測されています。その場合の主振動は約100秒間続き、さらに、揺れに伴う津波の襲来などにより甚大

40年の間に、およそ40%の確率で起こるといわれています。ちなみに、この地震発生周期は統計上、およそ100年～150年間で起こっていて、昭和の南海地震からは、およそ60年。つまり、あと40年ほどで統計上でのサイクル、100年に達する訳です。

な被害が予想されています。また、東南海地震との同時発生の際も指摘されています。地震は周期的に必ず起こるものであると認識し、いざというときに慌てないように、日頃から備えをしておくことが重要です。

## 災害に備えて再点検を

地震は、いつ発生するのか予想が困難です。家の中や周囲の点検をまず行いましょう。日頃の用意が最も重要です。

### 屋外対策

不安定な屋根のうえのアンテナや太陽熱温水器は補強をしておきましょう。

落下の危険性を避けるため、ベランダなどの高所には植木や鉢は極力おかないようにしましょう。基礎や鉄筋がない簡易な塀などは補強をし、避難路を阻害することのないようにしましょう。

### 屋内対策

出火時の初期消火に有効な消火器を準備しておきましょう。

窓ガラスは、割れたときの飛散防止にフィルムを張るなどの処置をしておきましょう。

本棚やタンスは金具で壁や柱などに固定しておきましょう。出入り口には物を置かないようにしましょう。

寝室には倒れる危険がある家具を置かないようにしましょう。

## 備えておこう 非常用持ち出し袋・・・

災害が起きた場合、避難を余儀なくされることがあります。救援が来るまでの間、対処できるように非常用持ち出し袋を準備しておきましょう。

最近は、手軽にお店で手に入るので、家族の人数や状況などに応じた量を準備すると良いでしょう。

非常用持ち出し袋（「リュックサック」のような背負えるもの）の中身の例

- ・飲料水（一人一日3L程度が目安といわれています）
- ・食料（乾パン・缶詰めなど日持ちする物）
- ・衣料品（最小限度の量の確保）
- ・日用品（タオル・石けんなど）
- ・懐中電灯や携帯ラジオ（予備の電池も）
- ・医薬品（絆創膏・ガーゼ・消毒薬など）
- ・紐靴（避難の際は着用のこと）
- ・貴重品（現金など）
- ・その他（缶切り・スプーンなど）



## 避難するときは・・・

日常使っている道路（特に住宅密集地）は、被災直後は、倒壊家屋等で通行が困難になることが予想されます。日頃から、避難場所に至る経路について調べておきましょう。

避難路には、地域の特性や環境を考慮し、危険度の少ない道を使いましょう。

車での避難はできるだけ避けて、もし乗車中に地震に遭遇した時は、左端に停車し鍵は付けたまま、徒歩で避難しましょう。

避難の際は、近隣の方とも協力し合い、声をかけあいながら集団で行動しましょう。

\* 各地域で避難場所に至る経路などについて話し合いをもたれることをお勧めします。

